

社) 日本ディープラーニング協会 研究会のご案内



Japan
Deep Learning
Association

「研究会」について



Japan
Deep Learning
Association

<概要>

趣旨	JDLA活動方針の下、DL技術の横断的かつ実質的な社会実装を図るとともに、協会活動に資する専門のテーマを議論することを目的としてテーマ（課題）毎に研究会を設置する。
テーマ	理事会による決定 ※総会に合わせた年次計画に基づいて決定。期中の発足は都度理事会で協議、決定する。
構成メンバー	座長 1名 ※理事会による指名（原則JDLA理事） 副座長 若干名 ※座長による指名・会員社（正・G以上）より推挙された者 研究員 会員ならびに会員企業に属する者・その他座長が必要と認めた者
活動期間	通年
活動内容	テーマに関する特定トピックについて有識者、話題提供者による講話と議論を行う勉強会形式を主体とし、各回の要旨を作成して会員向けに内部展開する。中間報告書ならびに最終成果物の作成、公開を行う。
活動頻度	8～10回程度/年



「研究会」について

<研究会の流れ>

研究会発足

- ・協会活動方針に沿って理事会決議
- ・座長選任

準備会

- ・副座長選任
- ・議論の範囲を絞り、話題提供者候補の人選
- ・各回開催概要作成、話題提供者手配
- ・研究員招集（募集人数・期間は準備会によって決定）

研究会実施（前半）

- ・話題提供(20分)・ディスカッション(20分)・懇親会(60分)
- ・初回のみ座長によるオリエン、研究員からの意見ヒアリング
- ・開催毎に要旨（議事録）作成

中間報告

- ・準備会によって作成
- ・研究会にて討議の上、最終化
- ・座長より理事会上程、承認

研究会実施（後半）

- ・話題提供(20分)・ディスカッション(20分)・懇親会(60分)
- ・初回のみ座長によるオリエン、研究員からの意見ヒアリング
- ・開催毎に要旨（議事録）作成

最終成果物の作成・公開

- ・準備会によって作成
- ・研究会にて討議の上、最終化 →研究会解散
- ・座長より理事会上程、承認
- ・事務局より公開

研究会名：AIガバナンスとその評価

≫目的

多様なアクターによる管理・評価の体制の在り方を「ガバナンス」と定義し、どのようなガバナンスの形がありうるのか調査し、信頼されるAIの構築の一助とする。

≫座長 江間 有沙理事

≫議論構成

前半：基本的な「ガバナンス」の枠組みに関して整理

後半：実際に様々なAIガバナンスの評価体制を考えてる組織へのヒアリング

≫成果物イメージ

様々な国や企業が行っている自己点検・評価や第三者による審査・評価の整理を行い、スタートアップ企業の観点を含めて報告書として公開する。

研究会名：契約締結におけるAI品質保証の在り方

≫目的

「品質保証」に対する概念や理解の不一致を解消し、
AI開発におけるトラブル防止に繋げるとともに契約締結の円滑化によって
AI利活用の促進をはかる。

≫座長 南野 充則理事

≫議論構成

前半：「品質」の概念整理、AIに関わる「品質」の考え方を示す
後半：「品質保証」範囲、合意形成に必要なプロセス・ポイントを示す

≫成果物イメージ

ベンダー・ユーザ双方が活用できる網羅的かつ過不足のないコミュニケーションツール、
契約締結における指南書、ガイドライン など

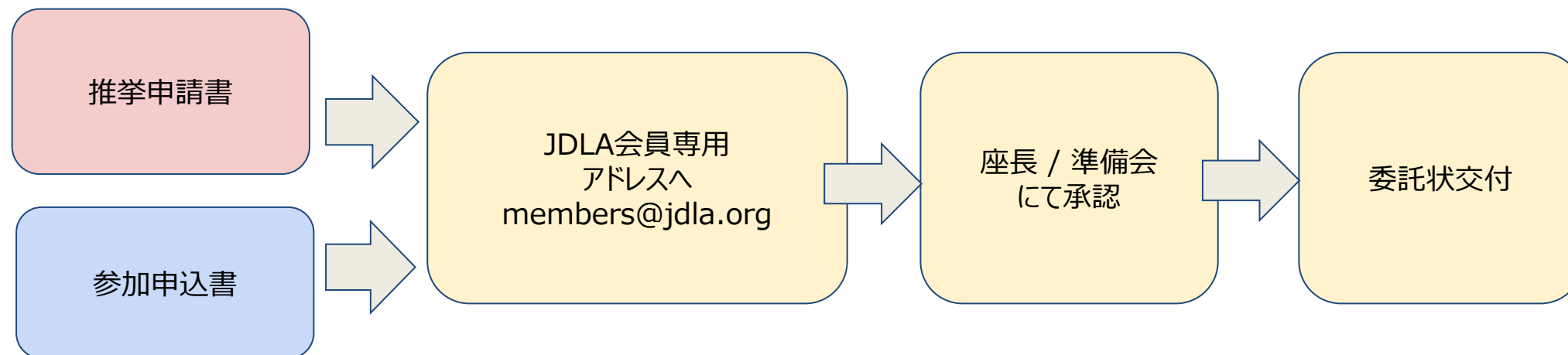


■ 研究会副座長推挙権（正会員・賛助会員(G以上)）

- ・委員推挙と同じく、副座長候補者推挙申請書をお送り下さい。
その後、事務局より委嘱状（NDA記載）を交付します。
※研究会単位で推挙期間の締め切りがあります。
- ・申請書は「members@jdla.org（JDLA会員専用）」へお送り下さい。

■ 研究会 参加権（全ての会員社）

- ・参加申込書をお送り下さい。準備会で承認後、委嘱状（NDA記載）を交付します。
※研究会によって募集人数は異なります。
- ・申込書の送付先は「members@jdla.org（JDLA会員専用）」





Japan
Deep Learning
Association